

[参考]H+における直線の方程式が、 § 24 と § 28 から得られる

左下図は、双曲平面で、 $x=k$  は極限平行な直線で無限遠上方で交わります。  $y=k$  はそれを軸とする極限球です。 故に  $x=k$  と  $y=k$  は直交します。 しかし  $\overline{AB} > \overline{CD}$  です。 よって左下図は 角度は正しく表していますが、長さは正しく表していません。 (右下図も同様)

ここで「 $\Delta x = x_2 - x_1, \Delta y = y_2 - y_1$ 」とおくと、 § 24 と § 28 から、

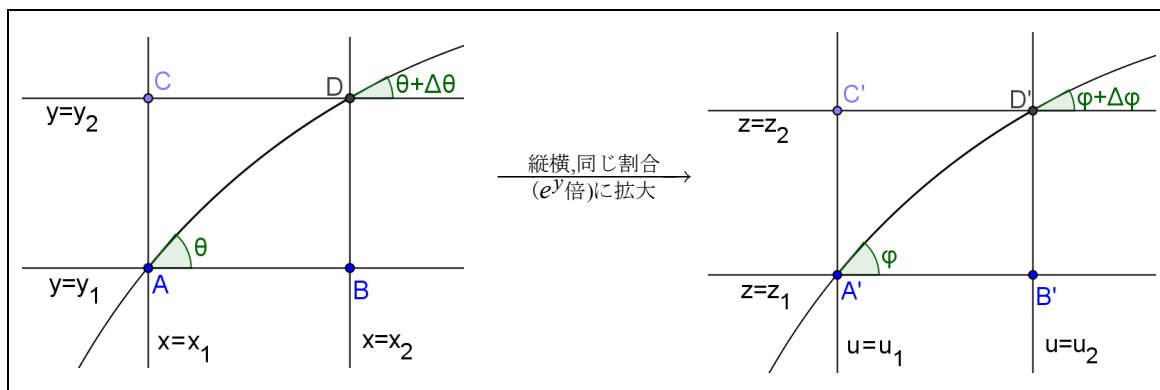
$$\begin{cases} \frac{\overline{CD}}{\overline{AB}} = e^{-\Delta y} & \dots ① \\ \frac{\overline{CD}}{\overline{AB}} = \frac{\sin(90^\circ - \theta)}{\sin(90^\circ - (\theta + \Delta\theta))} = \frac{\cos \theta}{\cos(\theta + \Delta\theta)} & \dots ② \end{cases}$$

①,②より

$$\frac{\cos(\theta + \Delta\theta)}{\cos \theta} = e^{\Delta y} \quad \therefore 1 - (\sin \theta)\Delta\theta \approx 1 + \Delta y \quad (\Delta y \approx 0 \text{ のとき})$$

したがって、

$$\begin{cases} \frac{dy}{d\theta} = -\tan \theta \dots ③ \\ \frac{dy}{dx} = \tan \theta \dots ④ \end{cases} \quad \therefore e^y = C_1 \cos \theta \dots ③'$$



次に  $y$  の代わりに「 $z = e^y$ 」で「垂直成分」を表すと、「 $-\infty < y < \infty$ 」より「 $0 < z < \infty$ 」

$x$ 成分も  $y$ 成分と同じ割合で拡大し、 $\begin{cases} \Delta z \approx (\Delta y)z \\ \Delta u \approx (\Delta x)z \end{cases} \iff \begin{cases} \frac{dz}{dy} = z \\ \frac{du}{dx} = z \end{cases}$  となるように  $u$  を定める。

さらに、 $\angle B'A'C' = \varphi$  とおくと「縦横同じ割合 ( $e^y$ 倍) で、点 A の周りに拡大する」ので、「 $\varphi = \theta$ 」。念のため 計算してみると、

$$(\tan \varphi =) \frac{dz}{du} = \frac{\frac{dz}{dx}}{\frac{du}{dx}} = \frac{\frac{dz}{dy} \cdot \frac{dy}{dx}}{\frac{du}{dx}} = \frac{z \cdot \frac{dy}{dx}}{z \cdot \frac{dy}{dx}} = \frac{dy}{dx} = \tan \theta \quad \dots ⑤$$

③'と⑤より,

$$\begin{aligned}\frac{dz}{du} = \tan \theta &= \pm \frac{\sqrt{C_1^2 - z^2}}{z} \\ \therefore \int \frac{z}{\sqrt{C_1^2 - z^2}} dz &= \pm du \\ \therefore \sqrt{C_1^2 - z^2} &= \mp u - C_2 \\ \therefore (u - C_2)^2 + z^2 &= C_1^2\end{aligned}$$

よって  $u$ - $z$  平面では, 双曲的直線は「 $z=0$ 」上の  
点を中心とする半円となる。(右図)

